

**議題 1**

報道機関 各位

記者発表資料
平成30年5月28日（月）
問い合わせ先：指導1課
課長：吉田
担当：辻、加藤英
電話：829-1662
内線：4055

さいたま市の英語教育 PLAN THE NEXT

小学校での英語教科化を盛り込んだ学習指導要領改訂、大学入試における英語の民間試験の活用等、英語教育は大きな変革期を迎えています。本市においては、市民、保護者の関心も高く、国に先駆けて実施している新たな英語教育「グローバル・スタディ」については、市立小・中学校での全校実施から3年目を迎え、そのあり方を見直す時期であると考え、「PLAN THE NEXT」を示すものです。

1 「グローバル・スタディ」実施の経緯

東京オリンピック・パラリンピックを見据え、文部科学省から「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」が公表されたのは、平成25年のことでした。本市では、これを受け、国に先駆けて、英語によるコミュニケーション能力をはぐくむことと併せて多様性を理解し、つないでいくことの大切さに関する教育を盛り込んだ新たな英語教育「グローバル・スタディ」に着手いたしました。平成27年度、英語教育研究開発モデル校での実践からスタートし、平成28年度から、市立全小・中学校での実施につながった、本市の英語教育「グローバル・スタディ」は、本年度、当初からの計画であった小学校での全時数を行う全面実施の年を迎えています。

2 「PLAN THE NEXT」目的

小・中学校9年間を一貫したカリキュラムとして開始した「グローバル・スタディ」は、市立小・中学校での全校実施から3年目を迎えています。本年度から、新学習指導要領の先行実施として、全国的に小学校での英語教育が拡大するなど、国の動向も注視しながら、「グローバル・スタディ」見直しの好機であると考えています。

ここで「PLAN THE NEXT」として、GTECを活用し、エビデンスに基づくカリキュラムの見直し、授業改善につなげたいと考えています。また、さいたま市の目指す「12年間の連続性をもった教育活動の実践」といった視点から、さいたま市の英語教育の全体像を考えていきます。

3 「PLAN THE NEXT」実施計画

(1) GTECの実施（エビデンスベースの英語力育成に向けて）

	日 時	場 所
GTECに係る 教員の事前研修会	平成30年6月13日(水)	青少年宇宙科学館
市内一斉のGTECの 実施(中学校第2学年)	平成30年8月29日(水) ～8月31日(金)	市立各中学校
事後研修会 生徒へのフィードバック	平成30年10月16日(火) ～10月26日(金)	プラザイースト他 ※参考

(2) 「グローバル・スタディ」カリキュラムの見直し、改訂

- ・生徒一人ひとりの英語力、学校ごとの「グローバル・スタディ」実施状況に基づくカリキュラムの見直し、改訂
- ・「アクティブ・ラーニング」「ユニバーサル・デザイン」の視点
- ・小・中・高等・特別支援学校の立場からの見直し

(3) さいたま市「CAN-DOリスト」の作成

- ・さいたま市として小・中・高等学校12年間を見通した「CAN-DOリスト」の作成

(4) 「グローバル・スタディ」研究フォーラムの開催

- ・「グローバル・スタディ」の効果測定の検証
- ・これからの「グローバル・スタディ」が目指すべき方向性
- ・「グローバル・スタディ」の授業実践

《参考》

GTECの事後研修会の実施計画(予定)

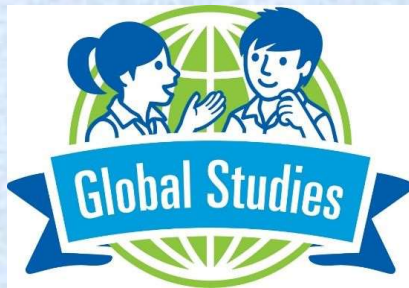
日 時	会 場	参加校数
平成30年10月16日(火)	プラザウエスト	14校 (桜区、南区、中央区)
平成30年10月17日(水)	市民会館いわつき	15校 (岩槻区、見沼区)
平成30年10月24日(水)	プラザイースト	10校 (浦和区、緑区)
平成30年10月26日(金)	プラザノース	18校 (大宮区、西区、北区)

議題 1

さいたま市の英語教育

PLAN THE NEXT

さいたま市教育委員会



「グローバル・スタディ」 スタートの経緯

平成25年度 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」公表
(文部科学省)

コミュニケーションを
大切にした本市の教育

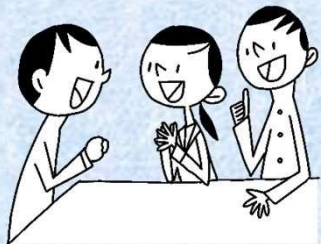
学校教育ビジョン
「知」「徳」「体」
「コミュニケーション」

2020年東京オリンピック・パラリンピック
を見据えた新たな英語教育

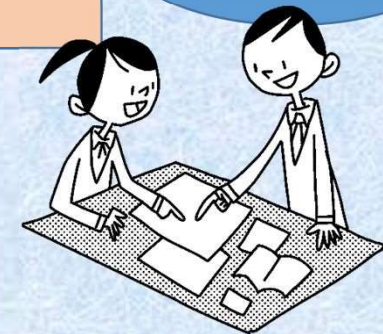
- ★小・中・高等学校を通じて一貫した
学習到達目標の設定
- ★日本文化の発信等やアイデンティティに
関する教育の充実

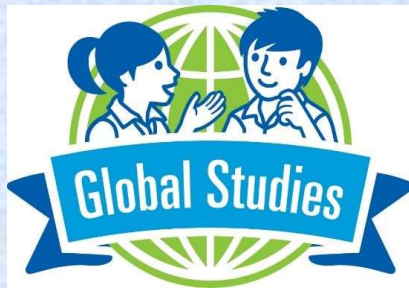
大学入試に係る
英語民間試験の
活用

小学校での
英語教科化

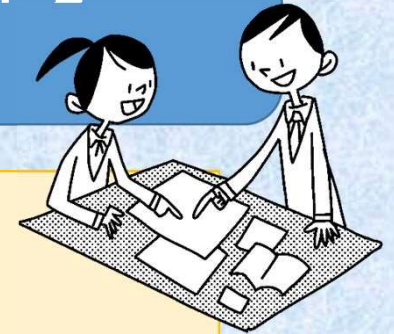


平成27年度 「グローバル・スタディ」
研究開始





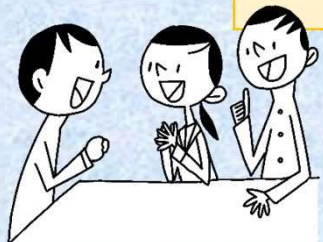
「グローバル・スタディ」の これまで



平成27年度 英語教育研究開発モデル校（2中学校、3小学校）
での研究開始

平成28年度 全ての市立小・中学校で「グローバル・スタディ」実施
小学校…**低**10時間 **中**17時間 **高**52時間、中学校…**157**時間

平成29年度 小学校では、授業時数増での実施
小学校…**低**17時間 **中**35時間 **高**70時間、中学校…**157**時間



平成30年度 「グローバル・スタディ」全面実施
小学校…**小1**34時間/**小2**35時間 **中**70時間 **高**105時間、
中学校…**157**時間

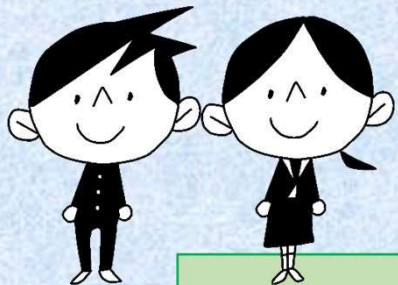
2017年度「英語教育実施状況調査」文部科学省調査 平成30（2018）年4月6日 公表

- 2017年12月1日現在
- 全国すべての公立中学、高校の生徒が対象

生徒の英語力の状況（中学3年 英検3級程度以上）

さいたま市	58.9%	対前年度	13ポイント増
埼玉県	41.9%	対前年度	3.6ポイント増
全国	40.7%	対前年度	4.6ポイント増

国の目標（50%）を上回り、**政令指定都市第1位！**



「グローバル・スタディ」の課題

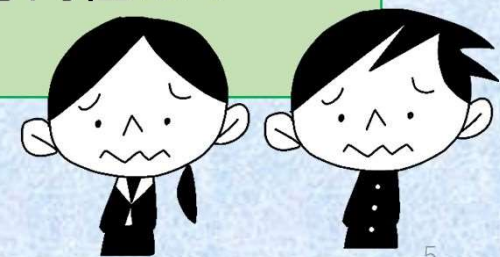
- ★ 生徒一人ひとりの英語力(4技能)の定着状況は？
- ★ 小・中・高等学校の円滑な接続は？

1 2年間の連続性



2020年 大学入試における
英語4技能試験の活用

- ★ 「グローバル・スタディ」のカリキュラム改善の方向性は？



中学校 スコア型 英語4技能検定 GTEC 実施について

全ての市立中学校 57校
第2学年生徒 約10,500名
が実施

★英語の4技能

(聞く、読む、話す、書く) の測定
⇒それぞれの技能について、**生徒一人ひとりの力がスコア**で示されます。

話す (Speaking) については、タブレット、ヘッドセットを付けての実施となります。

話す

聞く

読む

書く



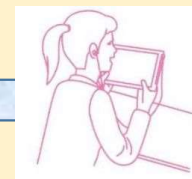
中学校 スコア型 英語4技能検定 GTEC 実施について

5月

グローバル・スタディ科主任研修会で、概要の説明（趣旨、実施概要等）

6月

グローバル・スタディ科主任研修会で、機器操作等の説明



8月

GTEC実施（市立中学校 57校）

○自身の強み・課題の把握 ○新たな目標の設定 ○主体的な学習計画

10月～
11月

生徒への結果のフィードバック
市教委、学校へのフィードバック . . . 事後研修会を開催



○「グローバル・スタディ」のカリキュラムの
見直し・改善

○各学校での授業改善



GTEC 期待される効果

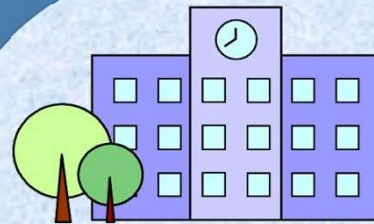
生徒の英語力の
分析



英語力に応じた
指導・評価



一人ひとりの
実態に応じた
英語力の育成



学校としての英語力の
定着状況を把握



英語力向上に向けた
授業改善



「グローバル・スタディ」
の授業の充実

エビデンスに基づく授業改善を！



事後研修会の実施

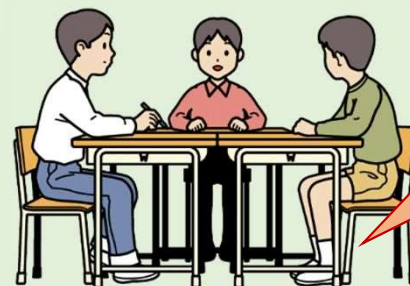
市内4地区で



自校の分析
を持ち寄り
指導方法を
検討



さいたま市全体の傾向
をレクチャー



学校ごとに個別
に傾向をレク
チャー

さいたま市「CAN-DOリスト」作成



- ★エビデンスに基づく授業改善
- ★カリキュラムの改訂等

児童生徒の4技能

「聞く・話す・読む・書く」

12年間を見通して育成する

話す

聞く

読む

書く



話す

聞く

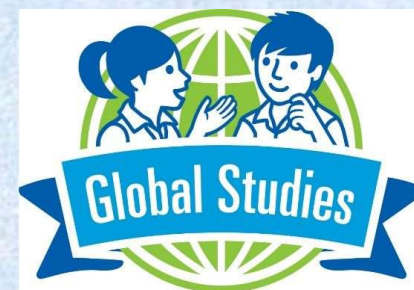
読む

書く



今後の「グローバル・スタディ」

～将来、グローバル社会で主体的に行動し、
たくましく豊かに生きる児童生徒の育成～



「グローバル・スタディ」
研究フォーラムの開催
平成31年1月(予定)



今後の「グローバル・スタディ」

～将来、グローバル社会で主体的に行動し、
たくましく豊かに生きる児童生徒の育成～

外国の方と英語で積極的
にコミュニケーションを図ることが
できる子ども



日本やさいたま市の
伝統・文化に誇りを
もち、将来にわたり、
社会に貢献する
子ども

多様な文化をもつ人々と
コミュニケーションを図り、
協働することができる英語力